

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和 元年 7月 5日
発信課	旭川市民文化会館
担当者	大瀧 安洋
連絡先	電 話 0166-25-7331
	FAX 0166-22-3526
	E-mail siminbunka@city.asahikawa.lg.jp

分 類	<input checked="" type="radio"/> イベント・行事 <input type="radio"/> 募集 <input type="radio"/> 契約・入札 <input type="radio"/> 会議・説明会 <input type="radio"/> その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	8月 23日 ~ 月 日
発表項目 (行事名)	旭川市民文化会館自主文化事業 「歌舞伎公演&ワークショップ」の開催について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	歌舞伎初心者でもわかりやすく歌舞伎の世界を体験できる、ワークショップと公演の2部構成の内容となります。旭川ではあまり見ることができないプロの歌舞伎を体験できます。 日時 令和元年8月23日金曜日 午後6時30分開演(午後6時開場) 会場 旭川市公会堂(旭川市常磐公園) 内容 第一部 演劇等とは異なる、歌舞伎の立ち廻りについて、わかりやすい解説付きのワークショップ。 第二部 歌舞伎「太刀盗人(たちぬすびと)」の公演。 金額 全席指定(前売 6月23日開始, 現在発売中) 一般 3,300円 学生 1,500円 ハートフル 1,500円 (ハートフル: 障害者手帳をお持ちの方) ※当日は500円増しとなります。
添付資料	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 資料: チラシ(表・裏 2面)) (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に当た ったのお願い	
備 考	

令和元年度 旭川市民文化会館自主文化事業

歌舞伎公演 &

ワークショップ

第一部 歌舞伎の楽しみ方 立ち廻り《参加型》
第二部 歌舞伎 松羽目物 『太刀盗人』

令和元年 (2019年) **8月23日(金)** 《開演 18:30》
(開場は18:00予定)

旭川市公会堂 (旭川市常磐公園)

【料金】(全席指定)

一般 3,300円
学生・各種障害者手帳をお持ちの方 1,500円
※当日は各500円増

【前売券販売先】 6月23日(日)販売開始

- ・玉光堂イオンモール旭川駅前店
旭川市宮下通7丁目 Tel. 0166-73-8801
- ・ヤマハミュージッククリテイング旭川店
旭川市4条通8丁目 Tel. 0166-27-0620
- ・コーチャンフォー 旭川店 ミュージックコーナー
旭川市宮前1条2丁目 Tel. 0166-76-4002
- ・旭川市大雪クリスタルホール 事務室
旭川市神楽3条7丁目 Tel. 0166-69-2000
- ・旭川市民文化会館 事務室
旭川市7条通9丁目 Tel. 0166-25-7331

【主催】 旭川市教育委員会

【問合せ】 旭川市民文化会館 Tel. 0166-25-7331

歌舞伎公演 & ワークショップ

第一部 歌舞伎の楽しみ方 立ち廻り《参加型》

テレビや映画などの戦いのシーンの部分のことを専門用語で「殺陣(たて)」と言います。一方で、映画やテレビができる前、江戸時代から続く歌舞伎では「立ち廻り」という言葉を使います。

「殺陣」というと、一般的には「本当に戦っているように見える」ことや「スピード感」が重要視されますが、歌舞伎の「立ち廻り」では、「如何に舞台を一枚の躍動感のある絵のように見せるのか」ということが重要視されます。これは殺陣が映画やテレビなど、カメラワークと一体となった世界で使われるのに対し、歌舞伎の立ち廻りが基本的には舞台を見に来た観客席の視点からの世界で発展してきたという違いがあるのかもしれませんが。

今回皆様にご覧いただく立ち廻りには、いくつかの「型(かた)」と言われるものがございます。刀を構え、山を切るように刀を振る「やまがた」と言われるものや、「霞(かすみ)」「からうす」など、名称を聞くだけでも、歌舞伎の雰囲気は伝わるとおもいます。また、立ち廻りと聞くと、「あぶない」というイメージを持たれるかも知れませんが、当日ご覧いただくこの「型」というものがあるおかげで、相手を絶対に傷つけない動きとなっていることを確認いただけたらと思います。歌舞伎が生まれて400年以上、伝統の中で培われてきた、知恵や工夫を鑑賞いただければ幸いです。



第二部 歌舞伎 松羽目物 太刀盗人



※写真は既公演より

田舎者の万兵衛が持っている立派な太刀に目を付けた、すっぱ(盗人)の九郎兵衛がその太刀を奪おうと争っているうち、どちらの所持品なのかわからなくなってしまいます。目代が従者を連れて出てきて、田舎者とすっぱを裁くこととなりますが、太刀の由来や銘などを聞いてもどちらも同じ答えです。田舎者はすっぱが立ち聞きして自分の答えをマネしていることに気付き、最後に太刀の長さをすっぱに聞こえぬよう目代に小さな声で伝えます。すっぱはついに太刀の寸法が言えず、悪事露見となってしまおうという、歌舞伎の名作です

出演者

帆之丞



立花志十郎



大河寛



藤田隆之



花柳琴臣

